

2025年4月18日

SBI岡三アセットマネジメント株式会社

21世紀金融行動原則に基づく環境金融の実態調査報告書に 当社の「地域応援ファンド」を通じた取り組みが掲載

SBI岡三アセットマネジメント株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 塩川 克史、以下「当社」)は、環境省が推進する「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に基づく環境金融の実態調査において、当社の取り組みに関する内容が21世紀金融行動原則のWEBページに掲載されましたので、お知らせいたします。

21世紀金融行動原則は、環境省の主導により2011年に策定された「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(7つの原則)」であり、現在(2025年4月1日)は、金融機関305社が署名しています。

当社は、責任ある機関投資家として、「地域応援ファンド」を通じた地元企業の成長支援や地域経済への貢献など、社会的価値を重視した取り組みを推進しております。当社は今後も、地域社会と共に歩む運用会社として、金融を通じた持続可能な社会の実現と社会的課題の解決に積極的に貢献してまいります。

■掲載資料

- 21世紀金融行動原則のWEBページ:
<https://pfa21.jp/document/hearing>
- 当社報告書(PDF):
https://pfa21.jp/wp2018/wp-content/uploads/2024_02_SBIOkasanAM.pdf

■企業理念



資産運用の未来に貢献し、お客様の期待をこえてゆく